

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2025年2月1日
事業所名: 夢門塾伴東	

		チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である		1	2				・指定基準を遵守し、十分なスペースを確保しています。
	② 職員の配置は適切である			1	2			・指定基準は遵守しながら行えています。次年度に向け採用も進んでいます。少人数ではあるが、安全に支援が行えるようにしています。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	1	1	1				・毎日の清掃を行い、事業所の衛生環境保持に配慮をしています。 ・子どもたちにも日々の支援の中で、食事前後の机の消毒の実施や手洗いうがいの奨励に取り組んでいます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	2	1	1				・企業理念や経営計画を共有し、事業所目標を立てて取り組んでいます。 ・専門性の向上の部分には、課題が残っています。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	1	1	1				・今回の実施が初年度となるため、今回の結果を踏まえ次年度により良い支援が提供できるように努めて参ります。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	1	1					・今回の実施が初年度となるため、今回の結果を踏まえ次年度により良い支援が提供できるように努めて参ります。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	2	1					・8月を除く毎月実施している夢門塾全体研修を初め、広島市こども療育センターが実施する研修にも職員を派遣し、資質向上に努めています。
	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	1	1					・日々の様子や、保護者様からの情報、必要に応じて学校の先生からも情報提供をいただき、支援計画作成に努めています。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	1	1	1				・活動や行事の担当を中心に支援会議の中で情報を共有しながら活動の計画を立てています。 ・初年度であるため、他夢門塾の活動内容を参考にするなどしながら工夫をしています。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	1		2				・他夢門塾の活動内容を参考にするなどしながら工夫をしています。 ・年間を通して経験が不足しているため、今年度の取組を基盤に次年度の活動をより良いものにしていきます。
適切な支援の提供	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している		1	2				・新規のご利用者が毎月増える中、アセスメント情報の不足から、今年度は安全を優先した運営を行って参りました。 ・次年度は、個々の目標、全体の目標を定めるなど工夫をしてまいります。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	1		2				・新規のご利用者が毎月増える中、アセスメント情報の不足から、今年度は安全を優先した運営を行って参りました。 ・個々のご利用者に合わせた自立課題の設定や認知トレーニングの実施が次年度の課題と捉えています。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2		1				・朝礼時の情報共有や申し送りを通じて、引継ぎや状況把握に努めています。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている			3				・指定基準は遵守していますが、質の部分では課題が残っています。 ・個別の課題に対する状況などを記録し、データとして取り組むことが出来るよう改善して参ります。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	1	1					・定期的なモニタリングと支援計画の見直しを実施しています。 ・可能な限り定期以外での面談にも応じていけるよう、職員体制を整えて参ります。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	1	1	1				・運動、学習、生活を3本柱にすることで、5領域を含めた支援を実施しています。 ・調理や戸外活動の機会を十分に確保することができなかつた為、次年度は回数を増やしていくことが課題に取り組んで参ります。

	⑪ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている		1	2	・送迎のミスや調整により、ご利用者様、ご家族にご迷惑をかけることがありました。 ・次年度からは、送迎車両、職員の増加など体制の強化を行います。連携ミスがないよう連絡ツールをさらに活用するなどの工夫をしてまいります。
関係機関、保護者様との連携	⑫ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている		1	2	・数件のご利用者様において、相談支援専門員を経由し児童発達支援の様子などを共有させていただきました。
	⑬ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		1	2	・該当する事例がありませんでした。 ・今年度末には、児童発達支援支援管理責任者が移行会議に参加し、該当されるご利用者様の情報共有を行います。
	⑭ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			・児童相談所、こども家庭センター、こども療育センターと連携を取っています。 ・次年度は、安佐南区自立支援協議会の部会にも参画いたします。
	⑮ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	1		2	・毎回のご利用時にコドモアプリを利用した写真付き連絡帳の配信や送迎時の情報共有を実施しています。 ・コドモアプリ、LINEworks、電話など複数の通信媒体を利用したご家族との情報共有体制を構築しています。
保護者様への説明責任等	⑯ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	2		・指定基準を遵守し、常時最新の契約書、重要事項説明書を使用しております。
	⑰ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3			・ご利用者様を始め、ご家族やご兄弟の育児に関する相談にも応じております。 ・年々、家族支援の重要さが法令にも反映されています。適切な相談援助が行えるよう、今後も職員の資質向上に努めて参ります。
	⑱ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		1	2	・年度途中の開所といふこともあり、今年度においては事業所と家族様の関係づくりの安定に努めて参りました。 ・次年度は、事業所参観の実施など保護者同士の交流の機会を確保して参ります。
	⑲ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2		1	・令和6年度苦情処理件数 0件(令和6年度自己評価実施時点) ・事業所へのご意見や改善点の提案は、今後の事業所運営に活かして参ります。ぜひ、忌憚のない意見をお寄せくださいませ。
	⑳ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	2		1	・年度途中からの実施となりましたが、夢通信において事業所の予定等を発信しております。
	㉑ 個人情報保護に十分注意している	2		1	・就業時の秘密保持の誓約書提出を始め、各職員が個人情報の保護に留意しております。
	㉒ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	2		1	・対応方法についての共有を行ったり、相談支援専門員を通じるなど情報伝達の工夫をしています。 ・㉑に挙げた複数の通信媒体を使用することで時間にとらわれない連絡体制の構築に努めています。
	㉓ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		1	2	・今年度においては、子どもたちと一緒に地域行事への参加を実施することができませんでした。 ・同学区内のPTA、地域ボランティアの方にご挨拶や事業所運営に関する理解を求めて参りました。
非常時などの対応	㉔ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している		1	2	・各種マニュアルに関して、情報共有や研修を実施して参りましたが、全ての職員への理解には届きませんでした。具体的な取組として、研修実施の他に社内連絡ツールで本社からの緊急情報を共有したり、マニュアル策定を行っています。
	㉕ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている			3	・子どもたちと一緒に避難訓練は実施出来ておりません。次年度は、広島市総合防災センターでの避難、地震体験など防災に向けた学習を実施いたします。 ・法令上の消防設備点検、避難経路の確認、防火設備の稼働確認は実施しております。
	㉖ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			・年2回の虐待防止や人権擁護に関する研修の他に、虐待チェックリストを活用した自己点検も実施しています。 ・身体拘束適正化・虐待防止委員会に参加し、事業部全体の課題に対して改善に取り組んでいます。
	㉗ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	2		1	・重要事項説明書第13項において、身体拘束適正化について定めています。 ・身体拘束の実施が必要と判断されたケース 0件(令和6年度自己評価実施時点)
	㉘ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	2		1	・送迎時の引継ぎを職員間で周知し、適宜与薬を行っています。 ・与薬時には、名前、服薬時間、残薬確認を点呼、目視で確認し誤薬防止に努めています。 ・与薬表を用いた服薬確認が出来ていなかつたため、直ちに保護者様からの指示書及び与薬表を作成、実施して参ります。
	㉙ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	3			・ヒヤリハットの必要性の周知を始め、積極的な記入に努めてまいりました。 ・広島市への事故報告 1件が発生しているため、再発防止及びその他事故防止にも引き続き取り組んで参ります。
保護者様評価、自己評価についてまとめ					
<p>・令和6年7月からの開所以降、ご利用者様、保護者様には事業所運営のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。日々の支援の中で、挙げられる課題としては、情報共有があると認識しております。日常業務での報告、連絡、相談や支援技術の伝達、共有など多岐にわたります。今後、研修や職員体制の充実をしていく中でも、よりよい支援が提供出来るよう重点課題として個々の資質向上に努めて参ります。</p>					